

原 著 Original Research Papers

医学教育分野別評価における 大規模言語モデルによる判定の量的・質的検証： 役割分離に向けた探索的検討

小 貫 友 暉* 中 村 真 理 子*

要旨：
背景：医学教育分野別評価における「評価疲れ」に対して大規模言語モデル（LLM）の活用可能性を探索するため、LLMによる評価基準への適合性判定の量的・質的妥当性を検証した。
方法：LLMを用いて分野別評価の書面調査を再現し、LLMと人間の判定一致度の量的検証と、判定差異の要因の質的分析を行った。
結果：Gwet's AC2 係数は0.91であった。質的分析により、LLMの判定からは評価基準に準拠した概念が抽出された一方、人間の判定からは文脈も包含した概念が抽出された。
結論：高い判定一致度からLLMによる判定の量的妥当性が示された。質的には、基準に準拠する形式的判定モデルとしてのLLMと、各大学の文脈も考慮する本質的評価モデルとしての人間の判定特性の差異が示唆された。これらは将来的に、LLMが基準適合性を判定し人間が教育改善の議論に注力するという役割分離の設計を検討する上で、基礎的知見となり得る。
キーワード：医学教育分野別評価、大規模言語モデル（LLM）、評価疲れ、役割分離

補足表 LLMおよび人間判定における「改善のための示唆」テキストデータのSCATを用いた質的分析

LLMが人間よりも肯定的に判定した水準 — 下位領域 7.2 「教員と学生からのフィードバック」Q水準					
	テキスト	注目すべき語句	その言い換え	それを説明するテキスト外語句	全体を考慮したテーマ・構成概念 注
LLM	フィードバックに基づいて改善された教育プログラムについて、その効果を検証し、さらなる改善に繋げるサイクルを確立すべきである。	フィードバック、改善された教育プログラム、効果を検証、改善	フィードバック、改善された教育プログラム、分析と利用、教育プログラムの継続的改善	フィードバックの分析と利用、改善された教育プログラム、教育プログラムの継続的改善	フィードバックの分析と利用による教育プログラム改善、教育プログラムの継続的改善
	新カリキュラム実施後も継続的にフィードバックを収集し、検証・改善を行うことが望まれる。	新カリキュラム、継続的に、フィードバック、検証、改善	改善されたカリキュラム、フィードバック、カリキュラムの継続的改善	改善されたカリキュラム、フィードバックの分析と利用、カリキュラムの継続的改善	フィードバックの分析と利用によるカリキュラムの継続的改善
	全卒業生アンケートを実施したが、新たなカリキュラム開発にはまだ至っておらず、さらなる活用が望まれる。	全卒業生アンケート、新たなカリキュラム開発、活用	卒業生からのフィードバック、カリキュラムの開発	卒業生からのフィードバックの利用、カリキュラムの開発	フィードバックの利用によるカリキュラム開発
	学生や教員からの提案を積極的に取り入れ、教育プログラムの継続的改善とイノベーションに繋げることが望まれる。	学生や教員からの提案、教育プログラムの継続的改善、イノベーション	学生および教員からの提案、フィードバック、教育プログラムの継続的改善、継続的開発	学生および教員からのフィードバックの利用、教育プログラムの継続的改善、継続的開発	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による教育プログラムの継続的改善および開発 注1
	注1 LLMではこのテキストにのみ [幅広い対象からの系統的な] 視点が見られる。				

* 東京慈恵会医科大学
 受付：2026年1月16日、受理：2026年5月7日

	ストーリー・ライン：LLM 判定では、[フィードバックの分析と利用] による、[カリキュラム] ないし [教育プログラムの継続的開発・改善] が求められた。				
人間	学生や教員からのフィードバックを充実させ、教育プログラムの開発につなげることが望まれる。	学生や教員からのフィードバック、教育プログラムの開発	学生および教員からのフィードバック、教育プログラムの開発	学生および教員からのフィードバックの利用、教育プログラムの開発	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による教育プログラム開発
	収集した教員と学生からのフィードバックを分析し、教育プログラムの改善を図ることが望まれる。	教員と学生からのフィードバック、分析、教育プログラムの改善	学生および教員からのフィードバック、教育プログラムの改善	学生および教員からのフィードバックの利用、教育プログラムの改善	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による教育プログラム改善
	教育プログラム全体についてフィードバックの結果を利用して、教育プログラムを開発することが望まれる。	全体、フィードバック、教育プログラムを開発	網羅的、系統的、フィードバック、教育プログラムの開発	系統的なフィードバックの利用、教育プログラムの開発	系統的なフィードバックの利用による教育プログラム開発
	教員と学生からのフィードバックを系統的に求め、分析し、その結果を利用して、教育プログラムを開発することが望まれる。	教員と学生からのフィードバック、系統的に、分析、教育プログラムを開発	学生および教員からのフィードバック、系統的、教育プログラムの開発	学生および教員からの系統的なフィードバックの利用、教育プログラムの開発	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による教育プログラム開発
	カリキュラムを立案する組織は、フィードバックの結果を利用して教育プログラム開発を行うことが望まれる。	フィードバック、教育プログラム開発	フィードバック、教育プログラムの開発	フィードバックの利用、教育プログラムの開発	フィードバックの利用による教育プログラム開発
	教員と学生からのフィードバックをもとに、教育プログラム全体を俯瞰したうえで、教育プログラムを開発することが望まれる。	教員と学生からのフィードバック、全体を俯瞰、教育プログラムを開発	学生および教員からのフィードバック、俯瞰的、包括的、教育プログラムの開発	学生および教員からのフィードバックの利用、包括的な教育プログラムの開発	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による包括的な教育プログラム開発
	カリキュラムについてのフィードバックに基づき、より積極的に教育プログラムを開発することが望まれる。	フィードバック、教育プログラムを開発	フィードバック、教育プログラムの開発	フィードバックの利用、教育プログラムの開発	フィードバックの利用による教育プログラム開発
	教育プログラム評価委員会を実働させ、教育プログラムに関するフィードバックを系統的に求め、分析し、教育プログラム開発に利用することが望まれる。	教育プログラム評価、フィードバック、系統的に、分析、教育プログラム開発	フィードバック、系統的、分析と利用、教育プログラムの開発	フィードバックの分析と利用、系統的、教育プログラムの開発	系統的なフィードバックの分析と利用による教育プログラム開発
	フィードバックの結果を利用して、教育プログラムを確実に開発することが望まれる。	フィードバック、教育プログラムを開発	フィードバック、教育プログラムの開発	フィードバックの利用、教育プログラムの開発	フィードバックの利用による教育プログラム開発
	IR等で得られた情報を分析し、個別の科目だけでなく教育プログラムを開発することが望まれる。	IR、分析、個別の科目だけでなく、教育プログラムを開発	情報の分析と利用、包括的、俯瞰的、教育プログラムの開発	フィードバックの分析と利用、包括的な教育プログラムの開発	フィードバックの分析と利用による包括的な教育プログラム開発
	フィードバックを教育プログラム開発につなげることが望まれる。	フィードバック、教育プログラムを開発	フィードバック、教育プログラムの開発	フィードバックの利用、教育プログラムの開発	フィードバックの利用による教育プログラム開発
	学生および教員からのフィードバックの結果を利用して、包括的に教育プログラムを開発することが望まれる。	学生および教員からのフィードバック、包括的に、教育プログラムを開発	学生および教員からのフィードバック、包括的、俯瞰的、教育プログラムの開発	学生および教員からのフィードバックの利用、包括的な教育プログラムの開発	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による包括的な教育プログラム開発
	教員と学生からのフィードバック結果を利用して、今後新たな教育プログラムを開発することが期待される。	教員と学生からのフィードバック、新たな教育プログラムを開発	学生および教員からのフィードバック、教育プログラムの開発	学生および教員からのフィードバックの利用、教育プログラムの開発	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による教育プログラム開発

フィードバックの結果をカリキュラム管理に利用するだけでなく、教育プログラムの開発にも活用することが望まれる。	フィードバック、カリキュラム管理に利用するだけでなく、教育プログラムの開発	フィードバック、俯瞰的、包括的、教育プログラムの開発	フィードバックの利用、包括的な教育プログラムの開発	フィードバックの利用による包括的な教育プログラム開発
幅広い教員と学生から得たフィードバックに基づき、教育プログラムを開発することが望まれる。	幅広い教員と学生から得たフィードバック、教育プログラムを開発	幅広い学生および教員からのフィードバック、教育プログラムの開発	幅広い学生および教員からのフィードバックの利用、教育プログラムの開発	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による教育プログラム開発
教員からの幅広いフィードバックを定期的に求め、より積極的に教育プログラムの開発に資することが望まれる。	教員からの幅広いフィードバック、定期的に、教育プログラムの開発	教員からのフィードバック、網羅的、系統的、定期的、継続的、教育プログラムの開発	教員からの系統的かつ定期的なフィードバックの利用、教育プログラムの開発	系統的なフィードバックの利用による教育プログラムの継続的開発
学生と教員からのフィードバックの結果を利用して、教育プログラムを開発することが望まれる。	学生と教員からのフィードバック、教育プログラムを開発	学生および教員からのフィードバック、教育プログラムの開発	学生および教員からのフィードバックの利用、教育プログラムの開発	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による教育プログラム開発
教員と学生からのフィードバックの結果を利用して、確実に教育プログラムを開発することが望まれる。	教員と学生からのフィードバック、教育プログラムを開発	学生および教員からのフィードバック、教育プログラムの開発	学生および教員からのフィードバックの利用、教育プログラムの開発	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による教育プログラム開発
フィードバックの結果を利用して、教育プログラムを改善することが期待される。	フィードバック、教育プログラムを改善	フィードバック、教育プログラムの改善	フィードバックの利用、教育プログラムの改善	フィードバックの利用による教育プログラム改善
「医系の人間学」の改善や臨床実習のスケジュールの変更などに加えて、学生や教員からのフィードバックの結果を利用して、教育プログラムを開発することが望まれる。	改善や変更などに加えて、学生や教員からのフィードバック、教育プログラムを開発	俯瞰的、包括的、学生および教員からのフィードバック、教育プログラムの開発	包括的な教育プログラムの開発、学生および教員からのフィードバックの利用	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による包括的な教育プログラム開発
教員と学生からのフィードバックの結果を利用して、教育プログラムを確実に開発することが望まれる。	教員と学生からのフィードバック、教育プログラムを開発	学生および教員からのフィードバック、教育プログラムの開発	学生および教員からのフィードバックの利用、教育プログラムの開発	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による教育プログラム開発
教員と学生からのフィードバックを収集し、その分析結果を活用して、教育プログラムをさらに向上させることが望まれる。	教員と学生からのフィードバック、分析、教育プログラムをさらに向上	学生および教員からのフィードバック、教育プログラムの改善	学生および教員からのフィードバックの利用、教育プログラムの改善	幅広い対象からの系統的なフィードバックの利用による教育プログラム改善
より系統的に教育プログラムに係るフィードバックの結果を収集・解析して教育プログラムの開発に繋げることが望まれる。	系統的に、フィードバック、解析、教育プログラムの開発	系統的、フィードバック、教育プログラムの開発	系統的なフィードバックの利用、教育プログラムの開発	系統的なフィードバックの利用による教育プログラム開発
専門科目アンケート、卒業時アンケート等のフィードバックの結果を統合的に利用して、教育プログラムを開発することが望まれる。	フィードバック、統合的に、教育プログラムを開発	フィードバック、統合的、網羅的、系統的、教育プログラムの開発	系統的なフィードバックの利用、教育プログラムの開発	系統的なフィードバックの利用による教育プログラム開発
フィードバックの結果を適切に利用して、教育プログラムを開発することが望まれる。	フィードバック、教育プログラムを開発	フィードバック、教育プログラムの開発	フィードバックの利用、教育プログラムの開発	フィードバックの利用による教育プログラム開発
ストーリー・ライン：人間判定では、学生や教員など【幅広い対象からの系統的なフィードバックの分析と利用】による、【包括的な教育プログラムの開発・改善】を図るべきとの示唆があった。				

LLMが人間よりも肯定的に判定した水準 — 下位領域8.2「教学における執行部」Q水準						
	テキスト	注目すべき語句	その言い換え	それを説明するテキスト外語句	全体を考慮したテーマ・構成概念	注
LLM	教学におけるリーダーシップの評価を、医学部の使命と学修成果に照合して、より定期的かつ明確に行う仕組みを強化することが望まれる。	リーダーシップの評価、使命と学修成果に照合して、定期的、明確、仕組み	執行部評価、使命と学修成果に照合、定期的、明確、システム構築	定期的な執行部評価システムの構築、使命と学修成果に照合した明確性	使命と学修成果に照合した明確性を担保した定期的な執行部評価システム構築	
	執行部や各委員長のリーダーシップについて、医学部の使命と照合したより定期的な評価方法を検討することが望まれる。	執行部、リーダーシップ、使命と照合、定期的に、評価方法	執行部、使命と照合、定期的、評価方法	定期的な執行部評価方法の構築、使命と照合	使命と照合した定期的な執行部評価システム構築	
	医学部の使命と学修成果に照らして、教学における執行部の実績を定期的に評価する仕組みを導入すべきである。	使命と学修成果に照らして、執行部の実績、定期的に、評価、仕組み	使命と学修成果に照合、執行部評価、定期的、システム構築	使命と学修成果に照合、定期的な執行部評価システムの構築	使命と学修成果に照合した定期的な執行部評価システム構築	
	教学執行部のパフォーマンスについて、使命と学修成果に照らした体系的かつ定期的な評価（外部評価含む）を実施する仕組みを構築すべきである。	執行部のパフォーマンス、使命と学修成果に照らした、体系的、定期的、仕組み	執行部評価、使命と学修成果に照合、定期的、体系的システム構築	定期的な執行部評価システムの構築、使命と学修成果に照合した体系的	使命と学修成果に照合した体系的性を担保した定期的な執行部評価システム構築	
	使命と学修成果に照合した教学における執行部の評価を、より明確な形で行うよう検討することが望まれる。	使命と学修成果に照合した、執行部の評価、明確な形	使命と学修成果に照合、執行部評価、明確	使命と学修成果に照合した明確性、執行部評価	使命と学修成果に照合した明確性を担保した執行部評価	
	使命と教育成果に関するリーダーシップの評価法については改善の余地がある。	リーダーシップ、評価法、改善	執行部、評価、システム改善	執行部評価システムの改善	執行部評価システム改善	
	執行部評価の結果を組織運営の改善に有効に活用する仕組みを強化することが望まれる。	執行部評価、組織運営の改善、活用する仕組み	執行部評価、組織運営の改善、システム構築	執行部評価、組織運営改善システムの構築	執行部評価による組織運営改善システム構築	注2
注2	このテキストにのみ「執行部評価による組織運営改善システム構築」がみられる。					
	ストーリー・ライン：LLM判定では、医学部の「使命と学修成果に照合」することで「明確性を担保」し「組織運営改善」を図る「定期的な執行部評価」を行う「システム構築」が求められた。					
人間	教学におけるリーダーシップについて、医学部の使命と学修成果に照合した評価項目を定めて、より明確に評価を行うことが望まれる。	リーダーシップ、使命と学修成果に照合した、評価項目を定め、明確に	執行部評価、使命と学修成果に照合した評価項目の設定、明確	執行部評価、使命と学修成果に照合した評価項目の設定による明確性	使命と学修成果に照合した明確性を担保した執行部評価	
	教学におけるリーダーシップの評価は医学部の使命と学修成果に照合して行うことが望まれる。	リーダーシップの評価、使命と学修成果に照合して	執行部評価、使命と学修成果に照合	執行部評価、使命と学修成果に照合	使命と学修成果に照合した執行部評価	
	教学におけるリーダーシップの評価を、医学部の使命と学修成果に照合して定期的に行うことが望まれる。	リーダーシップの評価、使命と学修成果に照合して、定期的	執行部評価、使命と学修成果に照合、定期的	定期的な執行部評価、使命と学修成果に照合	使命と学修成果に照合した定期的な執行部評価	
	医学部の使命と「X大学医学部医学科コンピテンシー」に則した教学のリーダーシップ評価を行うことが望まれる。	使命と「X大学医学部医学科コンピテンシー」に即した、リーダーシップ評価	使命とコンピテンシーに照合、執行部評価	使命とコンピテンシーに照合、執行部評価	使命とコンピテンシーに照合した執行部評価	
	医学部の使命と学修成果に照合して、教学のリーダーシップの評価を定期的に行うことが望まれる。	使命と学修成果に照合して、リーダーシップの評価、定期的	使命と学修成果に照合、執行部評価、定期的	使命と学修成果に照合、定期的な執行部評価	使命と学修成果に照合した定期的な執行部評価	

医学部の使命と学修成果に照合して、定期的に教学におけるリーダーシップの評価を行うことが望まれる。	使命と学修成果に照合して、定期的に、リーダーシップの評価	使命と学修成果に照合、定期的、執行部評価	使命と学修成果に照合、定期的、部評価	使命と学修成果に照合した定期的な執行部評価
医学部の使命と学修成果に照合して、執行部の評価を実施することが望まれる。	使命と学修成果に照合して、執行部の評価	使命と学修成果に照合、執行部評価	使命と学修成果に照合、執行部評価	使命と学修成果に照合した執行部評価
医学部の使命と学修成果に照合して、執行部の評価を定期的に行うプロセスを明確にし、評価を実行することが望まれる。	使命と学修成果に照合して、執行部の評価、定期的に、プロセスを明確に	使命と学修成果に照合、執行部評価、定期的、明確な評価過程の設定	使命と学修成果に照合した評価過程の設定による明確性、執行部評価	使命と学修成果に照合した明確性を担保した執行部評価
医学類の使命と学修成果に照合して、教学における執行部の評価を定期的に行うことが望まれる。	使命と学修成果に照合して、執行部の評価、定期的に	使命と学修成果に照合、執行部評価、定期的	使命と学修成果に照合、定期的な執行部評価	使命と学修成果に照合した定期的な執行部評価
教学におけるリーダーシップに関して、医学部の使命と学修成果に照合した評価項目を定めた上で明確に評価を行うことが望まれる。	リーダーシップ、使命と学修成果に照合した、評価項目を定め、明確に	執行部評価、使命と学修成果に照合した評価項目の設定、明確	執行部評価、使命と学修成果に照合した評価項目の設定による明確性	使命と学修成果に照合した明確性を担保した執行部評価
教学における執行部について、医学部の使命と学修成果に照合した評価を定期的に行うことが期待される。	執行部、使命と学修成果に照合した、評価、定期的に	執行部評価、使命と学修成果に照合、定期的	定期的な執行部評価、使命と学修成果に照合	使命と学修成果に照合した定期的な執行部評価
医学部長をはじめ教学における執行部の評価を、使命と学修成果達成の観点から定期的に行うことが望まれる。	執行部の評価、使命と学修成果達成の観点から、定期的に	執行部評価、使命と学修成果に照合、定期的	定期的な執行部評価、使命と学修成果に照合	使命と学修成果に照合した定期的な執行部評価
教学における執行部の評価を、医学部の使命と学修成果に照合して、定期的に行うことが望まれる。(6記述)	執行部の評価、使命と学修成果に照合して、定期的に	執行部評価、使命と学修成果に照合、定期的	定期的な執行部評価、使命と学修成果に照合	使命と学修成果に照合した定期的な執行部評価
教学関連委員会の委員長の評価を、医学部の使命と学修成果に照らして明確に行うことが望まれる。	教学関連委員会の委員長の評価、使命と学修成果に照らして、明確に	執行部評価、使命と学修成果に照合、明確	執行部評価、使命と学修成果に照合した明確性	使命と学修成果に照合した明確性を担保した執行部評価
教学における執行部、すなわち医学部執行部ならびに医学教育統轄センターの評価を、医学部の使命と学修成果に照合して、定期的に行うべきである。	執行部、評価、使命と学修成果に照合して、定期的に	執行部評価、使命と学修成果に照合、定期的	定期的な執行部評価、使命と学修成果に照合	使命と学修成果に照合した定期的な執行部評価
医学部の使命と学修成果に照合して、定期的に教学におけるリーダーシップの評価を確実に行うことが望まれる。	使命と学修成果に照合して、定期的に、リーダーシップの評価	使命と学修成果に照合、定期的、執行部評価	定期的な執行部評価、使命と学修成果に照合	使命と学修成果に照合した定期的な執行部評価
教学における執行部の評価を、医学部の使命と学修成果に照合して定期的に行うことが望まれる。	執行部の評価、使命と学修成果に照合して、定期的に	執行部評価、使命と学修成果に照合、定期的	定期的な執行部評価、使命と学修成果に照合	使命と学修成果に照合した定期的な執行部評価
医学部の使命と学修成果という観点で、教学における執行部を評価することが望まれる。	使命と学修成果という観点で、執行部を評価	使命と学修成果に照合、執行部評価	使命と学修成果に照合、執行部評価	使命と学修成果に照合した執行部評価
医学部の使命・基本理念や学修成果に照合して、教学における執行部の評価を十分に行うことが望まれる。	使命・基本理念や学修成果に照合して、執行部の評価	使命・基本理念や学修成果に照合、執行部評価	使命・基本理念や学修成果に照合、執行部評価	使命・基本理念や学修成果に照合した執行部評価

共通注 評価基準のバージョンによって「リーダーシップ」または「執行部」と表現が変更されている。原則として「リーダーシップ」と「執行部」は解析上同義に収束すると考えた。

ストーリー・ライン：人間判定では、医学部の【使命と学修成果に照合】することで【明確性を担保】した【定期的な執行部評価】を行うべきとの示唆があった。

LLM が人間よりも肯定的に判定した水準 — 下位領域 3.2 「評価と学修との関連」 B 水準						
	テキスト	注目すべき語句	その言い換え	それを説明するテキスト外語句	全体を考慮したテーマ・構成概念	注
LLM	卒業時コンピテンス・コンピテンシー、特に態度・コンピテンシー、態度・技能領域、学修成果の達成、態度領域 技能領域の到達度を客観的かつ確実に評価する仕組み（臨床実習後 OSCE の充実等）をさらに整備すべきである。	到達度	学修成果の達成、態度領域	学修成果の達成の評価、形成的評価を要する領域の評価拡充	学修成果の達成の評価、形成的評価の拡充	
	授業評価アンケートの回収率が10%以下と低く、授業評価アンケート、学生からのフィードバック、活用 学生からのフィードバックを有効に機能させるための改善（成績評価との紐づけ等）が強く望まれる。	フィードバック、有効に機能させる	フィードバック、活用	学修者からのフィードバックの活用	学修者による評価の活用、評価の客観性担保	注3
	CCにおける Workplace-based assessment をさらに充実させ、現場での観察評価とフィードバックを強化することが望まれる。	現場での観察評価、フィードバック	態度領域、形成的評価	形成的評価を要する領域の評価拡充	形成的評価の拡充	
	CC-EPOC等を活用し、技能・態度領域の評価とフィードバックをより充実させ、学生の学修をさらに促進すべきである。	技能・態度領域、評価、フィードバック	態度領域、形成的評価	形成的評価を要する領域の評価拡充	形成的評価の拡充	
	知識・技能・態度の個別評価および教育アウトカム評価について、全科目で統一した理解と適切な方法に基づいた評価が実施されるよう、教員への周知とFDを徹底し、評価の質を保証すべきである。	知識・技能・態度の個別評価、アウトカム、統一した	態度領域の評価、学修成果、組織的・統轄的評価	形成的評価を要する領域の評価拡充、評価の客観性担保	形成的評価の拡充、評価の客観性担保	
	マイルストーンを用いた段階的な評価システムを稼働させ、目標とする学修成果の達成を保証すべきである。各科目における形成的評価と総括的評価のバランスを把握し、最適化を図るべきである。	マイルストーン、段階的、学修成果、達成、保証、形成的評価と総括的評価のバランス	学修成果の達成の保証、段階的、形成的評価と総括的評価の適切な比重	学修成果の段階的達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討	学修成果の段階的達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討	注4・5
	態度領域を含む全てのコンピテンスについて、適切な評価方法を用いて達成度を保証する仕組みを確立すべきである。また、形成的評価の比重を高め、学生の学修をより効果的に促進すべきである。	態度領域、コンピテンス、達成度を保証、形成的評価	態度領域、学修成果の達成の保証、形成的評価	形成的評価を要する領域の評価拡充、学修成果の達成の評価、形成的評価の保証	形成的評価の拡充、学修成果の達成の保証	注5
	臨床実習におけるフィードバックの適時性を確保する仕組みを強化すべきである。また、形成的評価と総括的評価の適切なバランスについて検討し、指針を示すことが望まれる。	フィードバック、適時性、形成的評価と総括的評価の適切なバランスについて検討	形成的評価、適時性、形成的評価と総括的評価の適切な比重	適時性のある形成的評価の拡充、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討	適時性のある形成的評価の拡充、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討	
	臨床実習等におけるフィードバックを確実に記録し、学生の学修改善に資するよう組織的に管理・活用する仕組みを強化すべきである。	フィードバック、学修改善、活用	形成的評価、活用、組織的・統轄的評価	形成的評価の拡充、評価の客観性担保	形成的評価の拡充、評価の客観性担保	

	<p>形成的評価と総括的評価の適切なバランスが明示されていない。また、どの評価が真に学生の学修を促進しているか明らかではない。</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切なバランス</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>
	<p>形成的評価の結果が学生の自己主導型学習の促進に確実につながるよう、フィードバックの質とタイミングを改善し続けることが望まれる。</p>	<p>形成的評価、フィードバックの質とタイミング</p>	<p>形成的評価、適時性</p>	<p>適時性のある形成的評価の拡充</p>	<p>適時性のある形成的評価の拡充</p>
	<p>学生の学修を促進するため、試験結果の詳細なフィードバックや形成的評価を組織的に実施し、学生が自らの学習状況を把握・改善できる仕組みを強化すべきである。</p>	<p>フィードバック、形成的評価、組織的</p>	<p>形成的評価、組織的・統轄的評価</p>	<p>形成的評価の拡充、評価の客観性担保</p>	<p>形成的評価の拡充、評価の客観性担保</p>
	<p>注3 このテキストにのみ「学修者による評価の活用」がみられる。 注4 LLMではこのテキストにのみ「段階的」という文脈がみられる。 注5 LLMではこれらのテキストにのみ学修成果の達成の「保証」という文脈がみられる。</p>				
	<p>ストーリーライン：LLM判定では、「学修成果の達成の評価」に際して「評価の客観性担保」を図り、「適時性のある形成的評価の拡充」や「形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討」を行うべきとの示唆がみられた。</p>				
人間	<p>目標とする学修成果について、学生が達成していることを段階的に評価する方法と基準を明示し、実践すべきである。</p>	<p>学修成果、段階的、評価、基準を明示</p>	<p>学修成果の達成、段階的、評価基準の明示</p>	<p>学修成果の段階的達成の評価、評価の客観性担保</p>	<p>学修成果の段階的達成の評価、評価の客観性担保</p>
	<p>学修成果「医学科における教育研究上の目的」について達成度を評価できる指標を確定し、成績評価基準と関連づけるべきである。各学年で、「医学科における教育研究上の目的」の項目ごとに、必要な学修成果の達成度を明示し、最終的にすべての学修成果の達成を評価するシステムを構築すべきである。基礎医学科目の一部の科目だけで行われている形成的評価（フィードバック）をさらに拡充すべきである。</p>	<p>学修成果、達成度、評価、指標を確定、基準と関連づけ、形成的評価、フィードバック</p>	<p>学修成果の達成、評価基準の明示、整合性のある評価方法・基準、形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の達成の評価、評価の客観性担保、形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の達成の評価、評価の客観性担保、評価の整合性担保、形成的評価の拡充</p>
	<p>科目ごとに行われている評価を統轄的に管理して解析するシステムを構築すべきである。学生が経年的、段階的に学修成果を達成していることを保証すべきである。低学年から形成的評価を導入すべきである。</p>	<p>評価、統轄的、段階的、学修成果、達成、保証、低学年、形成的評価</p>	<p>組織的・統轄的評価、段階的、学修成果の達成の保証、形成的評価の拡充</p>	<p>評価の客観性担保、学修成果の段階的達成の保証、形成的評価の拡充</p>	<p>評価の客観性担保、学修成果の段階的達成の保証、形成的評価の拡充</p>
	<p>目標とする学修成果を学生が達成していることを保証できるよう修得すべき内容を定義し、適切な評価法を用いて評価すべきである。学生の学修を促すように、学修段階に応じた評価を行うべきである。全学年で形成的評価をさらに活用すべきである。</p>	<p>学修成果、達成、保証、学修段階に応じた評価、全学年、形成的評価</p>	<p>学修成果の達成の保証、段階的、形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の段階的達成の保証、形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の段階的達成の保証、多様な評価方法の活用</p>
	<p>目標とするコンピテンシーとマイルストーンに整合した評価を実施し、学生が卒業時にすべてのコンピテンシーを修得していることを保証すべきである。</p>	<p>コンピテンシー、マイルストーン、整合、保証、形成的評価、進捗を明らかにする評価</p>	<p>学修成果の達成の保証、整合性のある評価方法・基準、形成的評価の拡充、段階的</p>	<p>学修成果の段階的達成の保証、評価の整合性担保、形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の段階的達成の保証、評価の整合性担保、多様な評価方法の活用</p>

<p>形成的評価を確実にを行い、各学生の学修と教育の進度を明らかにする評価を実践し、すべての学生の学修を促進するべきである。</p>				
<p>カリキュラム全体を通して、各ユニットの教育内容・評価方法と、目標とするコンピテンシーに対応するマイルストーンとの整合性を確認することで、学生が学修成果を段階的に達成していることを保証する評価を確実に行うべきである。形成的評価を充実させることで、学生の学修と教育深度をモニタすべきである。</p>	<p>カリキュラム全体、コンピテンシー、マイルストーン、整合性、学修成果、段階的、保証、形成的評価</p>	<p>組織的・統轄的評価、学修成果、整合性のある評価方法・基準、学修成果の達成の保証、段階的、形成的評価の拡充</p>	<p>評価の客観性担保、学修成果の段階的達成の保証、形成的評価の拡充</p>	<p>評価の客観性担保、評価の整合性担保、学修成果の段階的達成の保証、多様な評価方法の活用</p>
<p>学生が、学修成果を段階的に修得していることを確実に保証する評価を行うべきである。形成的評価を適切に用いて、学生が自らの成長に気づくことができるような評価を行うべきである。</p>	<p>学修成果、段階的、保証、形成的評価、自らの成長に気づく</p>	<p>学修成果の達成の保証、段階的、形成的評価の拡充、活用</p>	<p>学修成果の段階的達成の保証、適時性のある形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の段階的達成の保証、適時性のある形成的評価の拡充</p>
<p>コンピテンシーの各項目について、学生による自己評価と他者評価を確実にを行い、個々の学修成果の達成度を評価すべきである。学生の学修を促進する評価について、多様な方法をより幅広く検討すべきである。形成的評価の実施状況を医学科として把握し、総括的評価との適切な比重を定めるべきである。</p>	<p>コンピテンシー、自己評価、他者評価、学修成果、達成度、形成的評価、統括的評価との適切な比重</p>	<p>学修成果の達成、多様な評価方法、形成的評価と総括的評価の適切な比重</p>	<p>学修成果の達成の評価、多様な評価方法の活用による評価の整合性担保、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>	<p>学修成果の達成の評価、多様な評価方法の活用、評価の整合性担保、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>
<p>目標とする学修成果の達成度に基づく評価を実践すべきである。目標とする学修成果に整合した評価方法を用いて、学生が達成していることを段階的に保証すべきである。形成的評価を確実にを行い、学生の学修をより促進すべきである。</p>	<p>学修成果、達成度、整合、段階的、保証、形成的評価</p>	<p>学修成果の達成の保証、整合性のある評価方法・基準、段階的、形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の段階的達成の保証、評価の整合性担保、形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の段階的達成の保証、評価の整合性担保、多様な評価方法の活用</p>
<p>コンピテンシーと評価法を整合させるべきである。コンピテンシーを学生が達成していることを保証する評価を行うべきである。学修成果（LCOs）の評価方法を適切なものとし、「各授業科目とコンピテンシーの対応表」との整合性をとるべきである。</p>	<p>コンピテンシー、評価法、整合、達成、保証</p>	<p>整合性のある評価方法、学修成果の達成の保証</p>	<p>評価の整合性担保、学修成果の達成の保証</p>	<p>評価の整合性担保、学修成果の達成の保証</p>
<p>目標とする「Y大学医学部コンピテンシー」を学生が達成していることを、自己評価以外の方法を含めて包括的に評価をすべきである。学修成果の達成を段階的に評価すべきである。</p>	<p>コンピテンシー、達成、自己評価以外、包括的、評価、学修成果、達成、段階的</p>	<p>学修成果の達成、多様な評価方法、学修成果、段階的</p>	<p>学修成果の段階的達成の評価、多様な評価方法による評価の整合性担保</p>	<p>学修成果の段階的達成の評価、多様な評価方法の活用、評価の整合性担保</p>
<p>目標とする学修成果を学生が達成していることを保証する評価とすべきである。PBL テュートリアル以外においても、形成的評価を実質化すべきである。形成的評価と総括的評価の適切な比重により、学生の学修と教育進度の判定の指針となる評価とすべきである。</p>	<p>学修成果、達成、保証、形成的評価を実質化、形成的評価と総括的評価の適切な比重、進捗の判定の指針</p>	<p>学修成果の達成の保証、形成的評価の拡充、形成的評価と総括的評価の適切な比重、段階的</p>	<p>学修成果の段階的達成の保証、形成的評価の拡充、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>	<p>学修成果の段階的達成の保証、形成的評価の拡充、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>

学修成果の達成度の評価においては、それぞれの学修成果を客観的に評価し、その達成度を保証すべきである。形成的評価と総括的評価の適切な比重について検討し、学生の学修と教育進度の判定の指標となる評価を実践すべきである。	学修成果、達成度、評価、保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重、進度の判定の指針	学修成果の達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重、段階的	学修成果の段階的達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討	学修成果の段階的達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討
各科目で修得すべきコンピテンシーを学生が明確に意識できるようにシラバスの記載を充実させ、マイルストーンを改善し、その達成を促す評価を行うべきである。すべての学生が定期的に形成的評価とフィードバックを受け、学修の指針となるようにすべきである。	コンピテンシー、マイルストーン、定期的、形成的評価、フィードバック	学修成果の達成、整合性のある評価基準、評価基準の明示、段階的、適時性、形成的評価	学修成果の段階的達成の評価、評価の整合性および客観性担保、適時性のある形成的評価の拡充	学修成果の段階的達成の評価、評価の整合性担保、評価の客観性担保、適時性のある形成的評価の拡充
教員および学生が「Z大学医学部卒業コンピテンシー・卒業コンピテンシー」を理解し、パフォーマンス・レベルを把握した上で、学修成果を学生が達成していることを保証する評価を実践すべきである。形成的評価の実施状況を対応する委員会が把握した上で、形成的評価と総括的評価の適切な比重を検証して定めるべきである。	コンピテンシー、パフォーマンス・レベルを把握、学修成果、達成、保証、評価、形成的評価と総括的評価の適切な比重	学修成果の達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重	学修成果の達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討	学修成果の達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討
コンピテンシーを学生が達成していることを保証する評価を行うべきである。それぞれの科目での形成的評価と総括的評価の方針をシラバスに明示すべきである。	コンピテンシー、達成、保証、評価、形成的評価、総括的評価	学修成果の達成の保証、評価方法・基準の明示	学修成果の達成の保証、評価の客観性担保	学修成果の達成の保証、形成的評価の拡充、評価の客観性担保
教育の各段階における学修成果を定め、その到達度を的確に評価する仕組みを構築し、実践すべきである。	各段階、学修成果、到達度	段階的、学修成果の達成	学修成果の段階的達成の評価	学修成果の段階的達成の評価
目標とするコンピテンシー、コンピテンシーと教育方法に整合した評価を実践すべきである。目標とする学修成果を学生が達成していることを、客観的にも保証する評価を実践すべきである。責任ある委員会において形成的評価と総括的評価の適切な比重について検討し、学生の学修と教育進度をわかりやすく判定できる評価を行うべきである。	コンピテンシー、整合、評価、学修成果達成、保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重、進度をわかりやすく判定	整合性のある評価方法、学修成果の達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重、段階的	評価の整合性担保、学修成果の段階的達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討	評価の整合性担保、学修成果の段階的達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討
各Phaseにおいて「教育到達目標」を学生が達成していることを保証すべきである。形成的評価と総括的評価の適切な比重により、学生の学修と教育進度の判定の指針となる評価を確実に実施すべきである。	各Phase、教育到達目標、達成、保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重、進度の判定の指針	段階的、学修成果の達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重	学修成果の段階的達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討	学修成果の段階的達成の保証、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討
学生が目標とする学修成果を達成していることを体系的に評価すべきである。形成的評価と総括的評価の適切な配分により、学生の学修を促進すべきである。	学修成果、達成、体系的、形成的評価と統括的評価の適切な配分	学修成果の達成、組織的・統括的評価、形成的評価と総括的評価の適切な比重	学修成果の達成の評価、評価の客観性担保、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討	学修成果の達成の保証、評価の客観性担保、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討

<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重について、方針を定め実施すべきである。すべての試験形式において、学修を促進するために解答、解説を含むフィードバックを行うべきである。</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重、フィードバック、形成的評価</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重、形成的評価の拡充</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討、形成的評価の拡充</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討、形成的評価の拡充</p>
<p>コンピテンシーの項目それぞれについて確実な評価を行い、達成されていることを保証すべきである。形成的評価の実施状況を把握し、総括的評価との適切な比重を定めて、より確実に実施すべきである。</p>	<p>コンピテンシー、達成、保証、形成的評価、統括的評価との適切な比重</p>	<p>学修成果の達成の保証、形成的評価の拡充、形成的評価と総括的評価の適切な比重</p>	<p>学修成果の達成の保証、形成的評価の拡充、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>	<p>学修成果の達成の保証、形成的評価の拡充、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>
<p>目標とする卒業時コンピテンシに整合した評価を実施し、学生が卒業時にすべてのコンピテンシを修得していることを保証すべきである。到達すべき卒業時コンピテンシ達成レベルは各科目のシラバスなどに明示すべきである。低学年においても形成的評価と総括的評価の配分に配慮すべきである。</p>	<p>コンピテンシ、整合、評価、保証、低学年、形成的評価と総括的評価の配分</p>	<p>整合性のある評価方法・基準、学修成果の達成の保証、評価基準の明示、形成的評価の拡充、形成的評価と総括的評価の適切な比重</p>	<p>評価の客観性担保、学修成果の達成の保証、形成的評価の拡充による評価の整合性担保、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>	<p>評価の客観性担保、学修成果の達成の保証、多様な評価方法の活用、評価の整合性担保、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>
<p>目標とするアウトカムと教育方法に整合した評価を実施すべきである。アウトカムの客観的な評価を低学年からより確実に実施すべきである。形成的評価と総括的評価の適切な比重について検討する。</p>	<p>アウトカム、教育方法、整合、評価、アウトカムの客観的な評価、低学年から、形成的評価と総括的評価の適切な比重</p>	<p>整合性のある評価方法・基準、学修成果の達成、段階的、形成的評価と総括的評価の適切な比重</p>	<p>評価の整合性担保、学修成果の段階的達成の評価、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>	<p>評価の整合性担保、学修成果の段階的達成の評価、形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討</p>
<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重により、学生の学修と教育進捗の判定の指針となる評価を行うべきである。</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重、進捗の判定の指針</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重、適時性のある評価</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討、適時性のある形成的評価の拡充</p>	<p>形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討、適時性のある多様な評価方法の活用</p>
<p>目標とした学修成果の段階的な達成度を測る評価を導入し、実践すべきである。低学年においても形成的評価をさらに拡充すべきである。</p>	<p>学修成果、段階的、達成度、低学年、形成的評価</p>	<p>学修成果の達成、段階的、形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の段階的達成の評価、形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の段階的達成の評価、形成的評価の拡充</p>
<p>学修の各段階において、学修成果の到達度を評価する基準を定め、評価を実施すべきである。臨床実習での形成的評価を活用し、学生の学修をさらに促進すべきである。</p>	<p>各段階、学修成果、到達度、形成的評価</p>	<p>段階的、学修成果の達成、形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の段階的達成の評価、形成的評価の拡充</p>	<p>学修成果の段階的達成の評価、形成的評価の拡充</p>
<p>ストーリー・ライン：人間判定では、[学修成果の段階的達成の評価] およびその [保証] に際して [評価の客観性担保] を図るとともに、[適時性のある形成的評価の拡充] を含む [多様な評価方法の活用] および [形成的評価と総括的評価の適切な比重の検討] による [評価の整合性担保] を図るべきとの示唆がみられた。</p>				

LLMが人間よりも厳格に判定した水準 — 下位領域 6.1「施設・設備」B水準						
	テキスト	注目すべき語句	その言い換え	それを説明するテキスト外語句	全体を考慮したテーマ・構成概念	注
LLM	学生の学修環境（自習室、休憩スペース、ロッカー等）の不足を解消するため、具体的かつ実効性のある改善策を講じるべきである。	学修環境の不足、解消、改善	学修環境の不足、充実化	不十分な学修環境の充実化	学修環境の充実化	

	カリキュラムを適切に実施するため、講義室、実習室、少人数グループ学習室、および臨床実習における学生用スペースを十分に確保・整備すべきである。	学生用スペース、確保・整備	学修環境、充実化	学修環境の充実化	学修環境の充実化
	学外臨床実習施設における学習環境（自習スペース等）の格差を是正し、どの施設においても同等の学習環境が提供されるよう調整・支援すべきである。	学習環境、格差、是正	学修環境、一部の不足、充実化	一部で不十分な学修環境の充実化	学修環境の充実化
	全学生が利用可能なロッカーを整備するなど、学生のアメニティを向上させ、適切な学習環境を保障すべきである。	学生のアメニティ、適切な学習環境	学修環境、充実化	学修環境の充実化	学修環境の充実化
	施設・設備のユニバーサルデザイン化が未整備の部分があり、改修計画に合わせて順次進めるべきである。	ユニバーサルデザイン化	全員にとって使いやすい学修環境	全員にとっての学修環境の充実化	学修環境の充実化
	新キャンパス移転までの間も、可能な限り学生の学習環境（自習室、ロッカー等）の改善に努めるべきである。	学習環境、改善	学修環境、充実化	学修環境の充実化	学修環境の充実化
	学生定員増に伴う施設の狭隘化に対し、新棟建設等の対応が進められているが、継続的な環境改善が望まれる。	学生定員増、狭隘化、継続的、環境改善	学生定員の変化、学修環境、充実化	変化に柔軟に対応、学修環境の充実化	柔軟性の考慮、学修環境の充実化
	老朽化した施設の更新（新棟建設）を着実に進めるとともに、完成までの間も学生の安全と学修環境の維持に万全を期すべきである。	老朽化、安全、学修環境	時代変化、安心できる環境、学修環境	変化に柔軟に対応、安全確保、学修環境の充実化	柔軟性の考慮、安全性の考慮、学修環境の充実化
	今後の入学定員の変化や感染症対策等に対し、柔軟に対応できる講義室・実習室の整備、継続が望まれる。	入学定員の変化、講義室・実習室の整備、継続	学生定員の変化、学修環境の充実化	変化に柔軟に対応、学修環境の充実化	柔軟性の考慮、学修環境の充実化
	施設の老朽化対策やICT環境の更新を計画的に進め、快適で安全な学修環境を維持することが望まれる。	老朽化、ICT環境、安全、学修環境	時代変化、安心できる環境、学修環境	変化に柔軟に対応、安全確保、学修環境の充実化	柔軟性の考慮、安全性の考慮、学修環境の充実化
	学生の自習スペースの不足を解消するための具体的な計画を実行すること。	自習スペースの不足、解消	学修環境の不足、充実化	不十分な学修環境の充実化	学修環境の充実化
	ストーリー・ライン：LLM判定では、[柔軟性] および [安全性] を考慮した [学修環境の充実化] が求められた。				
人間	現状ではアクティブラーニングスペース、チュートリアル室などが不足しているため、医学部治療学研究棟の竣工により、施設・設備が整備されるべきである。	スペース、不足、整備	学修環境、不足、充実化	不十分な学修環境の充実化	学修環境の充実化
	安全な学修環境を担保するために、医療安全講習会や院内感染講習会への学生の参加を促すべきである。学生定員数を考慮して、解剖実習施設をさらに整備すべきである。	安全、学修環境、講習会、学生定員数、整備	安心できる環境、学修環境、安全講習、学生定員の変化、充実化	安全確保、学修環境の充実化、変化に柔軟に対応	安全性と柔軟性の考慮、学修環境の充実化

自習室や図書館などの施設利用に関する学生への情報提供をさらに充実させるべきである。	施設、情報提供	学修環境、情報共有、支援、充実 学修環境の充実化	学修環境の充実化		
自習室は3号館5階と図書館などに確保されているが、学生には必ずしも十分とは言えず、より環境を整えるべきである。学生を対象とした防災訓練を実施すべきである。	自習室、十分とは言えず、環境を整える、防災訓練	学修環境、一部での不足、充実化、一部で不十分な学修環境の充実化、防災訓練、安心できる環境、予防、全確保、危険予防 備え	学修環境の充実化、安全性の考慮		
すべてのキャンパスにおいて、学生が参加する防災訓練の実施を検討すべきである。	防災訓練	防災訓練、安心できる環境、予防、安全確保、危険予防 備え	安全性の考慮		
全学の組織として「危機管理本部危機管理室」を設置し、専任教員を配置しているが、医学部として安全な学修環境確保のため、より実効性のある施策を実施すべきである。	安全、学修環境	安心できる環境、学修環境、備え 安全確保、学修環境、危険予防	安全性の考慮、学修環境の充実化		
医療安全および感染症対策に関する講習会に学生も参加するなど、より安全な学修環境を確保すべきである。	講習会、安全、学修環境	安全講習、安心できる環境、学修環境	安全性の考慮、学修環境の充実化		
カリキュラムを適切に実施するために、ロッカーなどの施設・設備を更に充実すべきである。	施設・設備、充実	学修環境、充実化	学修環境の充実化	学修環境の充実化	
災害時における学生の安否確認方法のマニュアルを整備すべきである。	災害、安否確認、整備	安心できる環境、備え	安全確保、危険予防	安全性の考慮	
学生の健康診断をより確実に実施すべきである。	健康診断	健康診断、予防	健康診断、安全確保、予防	健康診断の実施、安全性の考慮	注7
小人数学習に対応するための学習スペースをより増やすべきである。	学習スペース、増やす	学修環境、充実化	学修環境の充実化	学修環境の充実化	
6年生以外の学生に対する学習用スペースもさらに充実すべきである。	学習用スペース、充実	学修環境、充実化	学修環境の充実化	学修環境の充実化	
学生が研究活動を行う前に確実に必要な講習を受けると、さらに安全な学修環境を確保すべきである。	講習、安全、学修環境	安全講習、安心できる環境、学修環境	安全確保、学修環境	安全性の考慮、学修環境の充実化	
安全な学修環境を確保するため、ワクチン接種率や学研災付帯学生生活総合保険（付帯学総）加入率の向上を図るべきである。	安全、学修環境、ワクチン接種、学研災付帯学生生活総合保険（付帯学総）加入率の向上	安心できる環境、学修環境、予防、安全確保、健康増進、予防、危険予防 備え	安全性の考慮、健康増進		
共通注 ストーリー・ラインにLLM一人間間で明らかな差異はないが、LLMが人間よりも厳格に判定している。 施設・設備（の不足）は経済的観点を含むデリケートな話題であり、人間判定において付度が働いた可能性は考えられるか。					
注6 人間ではこのテキストにのみ「柔軟性」の視点がみられる。					
注7 このテキストにのみ「健康診断の実施」がみられる。					
ストーリー・ライン：人間判定では、「安全性」を考慮した「学修環境の充実化」が求められた。					

LLM が人間よりも厳格に判定した水準 — 下位領域 5.2 「教員の活動と能力開発」 Q 水準						
	テキスト	注目すべき語句	その言い換え	それを説明するテキスト外語句	全体を考慮したテーマ・構成概念	注
LLM	教員の昇進審査において、教育業績を適切かつ明確に評価・反映させるための具体的な基準や仕組みを確立すべきである。	教員の昇進審査、教育業績、明確に、評価・反映、基準や仕組み	教員の昇進方針、明確な教育業績の評価基準	明確な教育実績の評価基準を含む教員の昇進方針	明確な教育実績の評価基準を含む教員の昇進方針確立	
	能動的学修を効果的に実施するために必要な教員数を確保・養成すべきである。また、教員評価においてピア評価や360度評価の導入を検討・推進すべきである。	教員数を確保、教員評価、ピア評価や360度評価	教員数確保、適正な教員学生比率、教員評価、多様な評価方法の導入	適正な教員学生比率、多様な手法による教員評価	適正な教員学生比率確保および教員配置、適正な教員の昇進方針確立	
	教員の昇進・評価において、研究・診療業績と同等に教育業績を評価する明確な基準と仕組みを策定・確な、基準と仕組み履行すべきである。	教員の昇進・評価、教育業績、明確な、基準と仕組み	教員の昇進方針、明確な教育実績の評価基準	明確な教育実績の評価基準を含む教員の昇進方針	明確な教育実績の評価基準を含む教員の昇進方針確立	
	臨床教育の質を維持するため、臨床系教員の増員や教育専任教員の配置などの検討が望まれる。	教員の増員、教育専任教員の配置	教員数確保、適正な教員学生比率、適正な教員配置	適正な教員学生比率および教員配置	適正な教員学生比率確保および教員配置	
	適正な教員学生比率について検討し、カリキュラム実施体制の最適化を図ることが望まれる。	適正な教員学生比率	適正な教員学生比率	適正な教員学生比率	適正な教員学生比率確保および教員配置	
	学生に対して教員が充足している状態とは言えず、比率の改善、昇進審査、教育・診療比率の改善や屋根瓦教育の推進による対応が望まれる。また、昇進審査において教育・診療活動の評価基準をより明確にすることが望まれる。	適正な教員学生比率、教員の昇進、診療活動の評価、基準、明確に	適正な教員学生比率、教員の昇進方針、明確な教育・診療活動の評価基準	適正な教員学生比率、明確な教育・診療実績の評価基準を含む教員の昇進方針	適正な教員学生比率確保および教員配置、明確な教育実績の評価基準を含む教員の昇進方針確立	
教員の教育活動に対する評価を昇進や処遇に適切に反映させる仕組みをさらに明確化することが望まれる。	教育活動に対する評価、昇進や処遇、反映、仕組み、明確化	教員の昇進方針、明確な教育活動・実績の評価	明確な教育実績の評価基準を含む教員の昇進方針	明確な教育実績の評価基準を含む教員の昇進方針確立		
ストーリー・ライン：LLM 判定では、[明確な教育実績の評価基準] を含む [適正な教員の昇進方針確立] と、[適正な教員学生比率確保および教員配置] が求められた。						
人間	カリキュラムのすべての項目について、教員と学生の比率を十分に考慮することが望まれる。教員の昇進を審議する上での教育実績の評価対象を教員に明示することが望まれる。	カリキュラムのすべての項目、教員と学生の比率、教員の昇進を審議、教育実績、評価、明示	各カリキュラムに対する適正な教員学生比率、教員の昇進方針、明確な教育実績の評価	適正な教員学生比率、明確な教育実績の評価基準を含む教員の昇進方針	適正な教員学生比率確保および教員配置、明確な教育実績の評価基準を含む教員の昇進方針確立	
	カリキュラムの改訂や教育手法の変化に対応した教員の適正な配置について継続的に調整することが望まれる。	教員の適正な配置	適正な教員配置	適正な教員配置	適正な教員学生比率確保および教員配置	
	教員の昇進の方針に教育業績をより積極的に含めることが望まれる。	教員の昇進の方針、教育実績	教員の昇進方針、教育実績の評価	明確な教育実績の評価基準を含む教員の昇進方針	明確な教育実績の評価基準を含む教員の昇進方針確立	
	カリキュラムのそれぞれの構成に関連して教員と学生の比率が適切であるかを考慮することが望まれる。	カリキュラムのそれぞれの構成、教員と学生の比率	各カリキュラムに対する適正な教員学生比率	適正な教員学生比率	適正な教員学生比率確保および教員配置	

講義, 実習, チュートリアル教育, 臨床実習などに 関連して, 教員と学生の比率を考慮することが望ま れる.	講義, 実習, チュートリアル教育, 各カリキュラムに対する適正な教 員学生比率	適正な教員学生比率	適正な教員学生比率確保および教員配 置	
教員の昇進の方針を明確にして履行することが望ま れる.	教員の昇進の方針, 明確	明確な教員の昇進方針	明確な教員の昇進方針	適正な教員の昇進方針確立
大学統合に伴い, 必要な教員の数, 配置について継 続して検討することが望まれる.	必要な教員の数, 配置	教員数確保, 適正な教員学生比率, 適正な教員配置	適正な教員学生比率および教員配置	適正な教員学生比率確保および教員配 置
共通注	ストーリー・ラインに LLM—人間間で明らかな差異はないが, LLM が人間よりも厳格に判定している. 前項の施設・設備同様, 教員の昇進方針もデリケートな話題であり, 人間判定において付度が働いた可能性は考えられるか.			
ストーリー・ライン: 人間判定では, [明確な教育実績の評価基準] を含む [適正な教員の昇進方針確立] と, [適正な教員学生比率確保および教員配置] が求められた.				